

会 議 録

会議の名称	令和元年度第1回行田市総合教育会議
開催日時	令和元年7月8日(月) 開会：午後1時30分 閉会：午後3時
開催場所	行田市役所 305会議室
出席者(委員) 氏名	石井直彦市長、鈴木トミ江教育長、岸田昌久委員、 鹿山高彦委員、大久保英子委員
欠席者(委員) 氏名	増田雅久委員
事務局	<p>学校教育部：江利川学校教育部長、荻原学校教育課長、 諸貫教育総務課長、上野学校教育課主幹 村上学校教育課主幹、白井教育総務課主幹</p> <p>生涯学習部：藤井生涯学習部長</p> <p>総合政策部：畔上総合政策部長、菅原企画政策課長、 川上企画政策課主幹、渋澤企画政策課主任</p>
会議内容	<p>議事</p> <p>(1) 少人数学級編制について</p> <p>(2) その他</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 総合教育会議構成員名簿</li> <li>・ 資料1 少人数学級編制について</li> <li>・ (参考資料) 行田市教育大綱</li> <li>・ (参考資料) 行田市総合教育会議設置要綱</li> </ul>
その他必要 事項	傍聴者 なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事
司 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続いて、次第の3「議事」に入る前に、会議の公開・非公開に関する取扱いについて確認させていただく。本日の会議は、議事の中で個人情報を取り扱う予定がないことから、原則公開とさせていただく。また、会議録の作成は要点筆記とし、委員名を明記の上、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて公開させていただく。</li> <li>・それでは、本日の「議事」に入る。進行については、要綱第4条第1項の規定により、会議の議長は市長が務めることとなっていることから、ここからは石井市長に議事の進行をお願いする。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、暫時、議長を務めさせていただく。はじめに、議事の（1）「少人数学級編制」について、事務局から説明をお願いする。</li> </ul>
事 務 局	<p>&lt;資料1により説明&gt;</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいま事務局から「少人数学級編制」について説明があったが、ご意見やご質問があればお願いします。</li> </ul>
岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浮き城先生に対しては、非常に高いスキルや能力が求められているが、その一方で近年は採用にあたって低倍率が続くなど、人材の確保は大変困難になっていると感じている。</li> <li>・浮き城先生の導入から10年以上が経過していることもあり、近年の状況を鑑みると、この制度を見直すひとつのタイミングなのではないか。</li> <li>・単に学級数を増やしたり、少人数教育を進めるだけではなく、子どもたちの抱える課題に細かく対応できる先生が求められており、子どもたち中心の教育環境づくりが今後さらに必要であると感じている。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校においては、自校の課題をしっかりと把握し向き合い、課題解決に取り組む必要がある。</li> </ul>
大久保委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浮き城先生自身が、1年を通じて子どもたちとともに成長できるという点では、大変良い取り組みであったと感じている。</li> <li>・近年は倍率の低下とともに質の低下が懸念される中、見直しの時期に差し掛かっているのではないかと。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の総合教育会議では、パワーアップサポーターの充実などにより学力向上が図られてきているという説明があったが、対象学年を拡大することはさらなる学力向上につながるのではないか。現在行っている取組みは確実に子どもたちの力になっている。</li> <li>・いただいたさまざまな意見をもとに、子どもたちと保護者にとって最善の方法となるよう、今後も検討していく。</li> </ul>
鹿山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのクラスの実情はさまざまであり、人数が少なくても教育指導員が必要と感じるクラスなどもあるのではないか。</li> <li>・子どもたちの人数で一律に配置の有無を判断するのではなく、ある程度柔軟性をもってこの制度の導入が図れないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数のみを持って判断することについては、再考する必要があると認識している。導入にあたっては、実情に応じた対応が図られるよう総合的に検討していく。</li> </ul>
岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、これまでの少人数学級から少人数指導の重要性が増してくるものと思われる。チームティーチングや能力別授業を行うなど、行田市では何十年も前からのノウハウの積み重ねがあり、それらを活かして、さらなる改善に取り組んでもらいたい。</li> <li>・小学校の教員は外国語の教材研究には取り組んでいないことが多く、教員にとっても不安がある。イングリッシュサポーターについては、教える側の不安をも取り除くような学習支援となることを期待したい。</li> <li>・また、これまで小学校では英語に対する苦手意識、つまづきとならないよう、リズム遊びなど英語に親しむということに重点を置いた授業を行っている。英語の教科化にあたってはその親しみをなくさないように取り組んでもらいたい。</li> <li>・学童保育時において、学習補助が行えないか。せっかく長時間学童保育で子どもたちを預かっているのだから、その時間を有効活用できれば効果は大きいと考えている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、1学級を複数グループに分けた授業などを行っており、人数別や習熟度別など、実情に合わせて今後も取り組んでいく。</li> <li>・今までの英語授業と異なり、リーディングやライティングが盛り込まれることになるが、授業にあたってはイラストを用いるなど、英語の楽しさを伝えられるような授業に取り組み、中学校の英語教育へのスムーズな移行が図られるよう取り組んでいく。</li> <li>・イングリッシュサポーターについては、英語教員免許保有者を採</li> </ul>

	<p>用したいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育時の教育については、関係部局と調整を進めていく。</li> </ul>
鹿山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの少人数・複数指導にあたり、少人数学級編制を見直すことで一クラスの人数が増えることになるが、その際は部屋の換気をこまめに行うなど、子どもたちが集中して授業に取り組める環境の確保に努めてもらいたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気などを含めた健康教育については、今後もしっかり取り組んでいく。</li> </ul>
岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の負担が大きくなると考えられる40人学級の発生状況についてはどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は、桜ヶ丘小学校6年生、泉小学校4年生、西小学校6年生、西中学校3年生に40人学級が発生する見込みである。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上や基本方針に対する取組みについての現状や今後の取組み、進捗状況など、子どもたちにとって何が最善か一歩踏み込んだ議論の場として総合教育会議を活用していきたい。課題の洗い出し、改善策の検討、結果とフィードバックをしっかりと行った上で、分析に基づいた教育改善に取り組む必要がある。</li> <li>・学力向上には力を入れて取り組んでいきたいが、学力向上の現在の立ち位置や状況、目標をどのレベルに設定するのか、そのためには何をすべきかを考えてほしい。予算にも限りがあることから、今行っている対策を精査し見直すべきは見直し、学力向上に向けたさまざまな方策を生み出していきたいと考えている。</li> <li>・これまでの成果として、具体的な指標に基づいた客観的な現状把握が重要である。今やっていることが正しいのか、今やっていることを補完するためには何が必要で何が不要か、皆さんから多くの意見を出してもらいたい。</li> <li>・教育指導員の導入にあたっては、人数による基準によらず配置する場合の具体的な例示などが必要ではないか。</li> <li>・学力向上、不登校、いじめなど教育に対する課題は山積しており、その改善が人口減少対策にもつながるものと考えている。この総合教育会議は、そんな教育に対する大きな課題について皆さんと意見を出し合える場として今後運用していきたい。</li> <li>・例えば、昨年夏休み期間中に図書館で子どもたちを対象とした映画会が開催されたが、さらに多くの児童・生徒に興味を持ってもらうためには、上映作品の選定を学校にお願いするなどの改善が</li> </ul>

	<p>考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、さいたま市では学童保育時に学習指導を実施していると聞く。学童を学校の延長ととらえ、学習指導を行うなどすれば、学力向上に直接的に結び付く。子どもたちは教え方を工夫し、親身に指導すればするほど大きく成長する。学童に預けられている時間を有効に活用し、一つの学習の場として定着させることはできないか。</li> <li>・委員の皆さんの共通認識として、現状のさらなる改善が求められていると思う。現状を打破するための方法を多く提案し合って、その結果を分析に基づき検証していきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで本総合教育会議は年2回程度開催してきた。今年度からは、2カ月に1回程度開催したいと考えている。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間は1時間半程度とし、大きなテーマについて話し合う場としたい。特に、学力向上については喫緊の課題であると認識し、早急に取り組まれない。</li> <li>・その他、教育委員の皆様から何かあればお願いする。</li> </ul> <p style="text-align: center;">＜特になし＞</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、これにて議事を終了する。教育委員の皆様には、スムーズな議事進行にご協力賜り、ありがとうございました。</li> <li>・これをもって議長の職を解かせていただき、事務局に進行をお返しする。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの総合教育会議の運用方法や進め方については、法律や要綱の規定を考慮しながら、今後総合的に検討していく。</li> <li>・以上をもって、令和元年度第1回行田市総合教育会議を閉会とする。</li> </ul> <p style="text-align: center;">＜閉 会＞</p>